



Advanced DICOM Workstation Server Program

画像診断用ソフトウェア **Wink ServerExtension Pkg.**



疾病診断用プログラム

- All in One PACS として豊富な機能を提供します。
- C++ 言語で開発され、64 ビット OS 上でネイティブに動作します。
- 統合化オンデマンドサーバであり院内 PC を参照端末として使用可能です。

最新のアーキテクチャーに適応

本製品はサーバ兼用機ビューアとしてその性能を無理なく発揮させるために 64 ビットアーキテクチャーにネイティブに対応しています。

データベースエンジン、DICOM サーバ、オンデマンドサーバ等基幹アプリケーションがすべて 64 ビットで動作します。

オペレーティングシステムも Windows 8 で動作検証しており、マルチプロセッサ、8GB 以上のメモリ搭載、2TB のローカル HDD 対応など、まさに今日のソフトウェアシステムです。

院内の PC で本製品の画像を表示

本製品にはオンデマンドサーバ機能が搭載されています。院内 LAN 環境下で結ばれた Windows PC (Windows 7 Pro 以降。32 ビット PC、64 ビット PC 何れもアクセス可能です。) は本製品に対して画像の検索や表示などを実施できる参照端末として機能させることが可能です。電子カルテ端末なども画像を表示したり、電子カルテから検索・画像表示の命令を出すことも可能です。(電子カルテにこの機能を持たすことが可能かどうかに関してはカルテメーカーと事前に打ち合わせが必要です。)

参照端末の登録台数に制限はありませんが、本製品のプラットフォーム OS 対象が Professional であるため同時接続は 5 端末が上限になります。

画像のみならず、DICOM 規格がサポートする Encapsulated PDF をサポートしているため文書の管理も総合的に実施可能です。右図はオプションソフトウェアの DocView で文書を表示している写真です。

All in One として十分な機能を提供

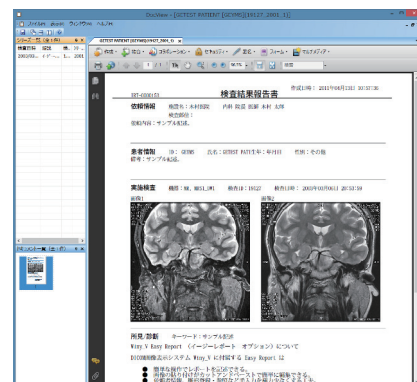
本製品は Wink 標準ソフトウェアにサーバ・エクステンションを追加した仕様になっています。

業界標準である DICOM に準拠して開発されており、各種のモダリティに対して DICOM サーバ兼クライアントとしての役割を持っています。

SE 標準ライセンスで実保存容量 1TB 以上をサポートすることを前提に開発されており、データベース拡張オプションで 20 万検査 / 2TB の実保存管理能力を発揮、拡張することが可能です。オートアーカイブ機能を搭載しており、外付け HDD に対して毎日自動バックアップする能力があります。

オートルート機能が付属しており、第三の端末に受信画像をそのまま自動転送することが可能です。

サーバ製品は保守のリアルタイム性が要求されますので、本製品はリモート障害対応を年間契約で申し込むことが可能です。



Wink SE ソフトウェアの主な仕様

■インストール対象コンピュータ

日本 HP ワークステーション。ディスプレイの解像度が 1,280(w) x 1,024(h) ドット以上であること。ギガビットネットワークを装備していること。4GB 以上のメモリを装備していること(推奨は 8GB 以上)。ベシックとして 1.0TB x 2 台の HDD を搭載しており、RAID1(ミラー)以上の冗長化対策を行っていること。無停電電源装置を搭載していること。Windows 7 Pro ~ Windows 8 Pro OS で 64 ビット版であること。インターネットまたは VPN 環境があることが望ましい。(インターネット環境の場合特定ポートでリモート障害対応可能。)

■データベース

標準ライセンス DB 最大検査数: 100,000 study
ファーストインファーストアウト (FIFO) 自動削除機能
ロック/アンロックスタディ、オートルート機能
プリフェッチ、フィルタ付検索機能、自動復旧機能

■オンデマンドサーバ

本製品に PC がアクセスするためのオンデマンド用画像参照ソフトウェアが付属しています。付属しているソフトウェアはワークリスト(右図)、ビューアー(同時 2 個起動可能)など。DICOM PDF は端末に Adobe Reader がインストールされていれば、自動変換表示できます。参照端末条件: 現在 XP でも動作しますが、Windows 7 以降の OS であることが望ましい。32 ビット / 64 ビット版両方サポートしています。

■DICOM 機能

画像送信機能 (Storage SCU)、画像受信機能 (Storage SCP)
問合せ・取得機能 (Q/R SCU / SCP)、印刷機能 (Print SCU)
メディア管理機能 (FSC, FSR, FSU)

■イメージ・ビューアー

複数シリーズ連動並びに非連動ネクスト/プリオアシリーズ/イメージロケーション連携/イメージ番号連動・非連動スクロールイメージ
ネクスト/プリオアスタディ表示、ワンクリック全画面表示切替
マルチ・フォーマットファンクション(タイルおよびスタック)
ウィンドウレベル・幅調整(自動、プリセット、マニュアル)
ルックアップテーブル選択(グレー、リバース、擬似カラー、ユーザ作成)
アノテーション(注釈書込み。フォントサイズ 3 段階、色指定 8 色)
拡大/縮小、回転/反転(上下/左右)、パンニング表示(連動・非連動)
ライフサイズ表示、キー画像保存
ムービー表示(ループ/リバース/ラウンド、fps 設定 / fps 自動設定)
各種計測機能(ピクセルレポート、距離、角度、ROI、心胸比)
カット & ペースト機能(指定表示画像を他のアプリへ貼り付け)
セーブ機能(表示中の静止画、動画を BMP/JPEG や AVI で出力)
グリッドによるモアレ除去フィルタ(アンチエイリアス機能)

DICOM / Windows マルチフォーマット印刷機能

■メディア関連機能

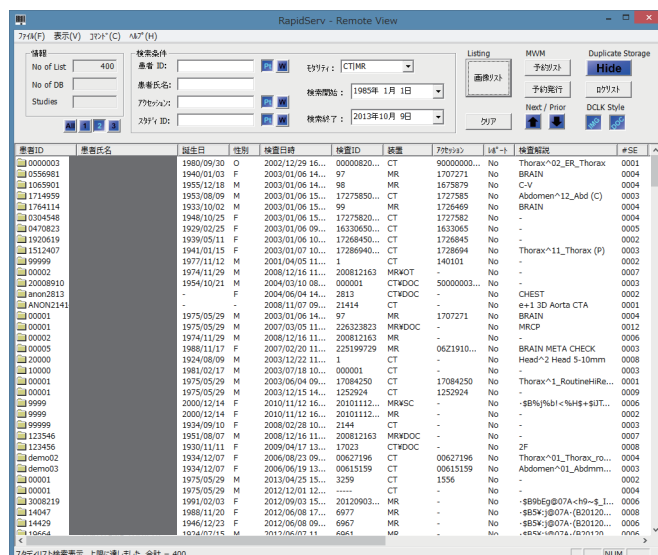
ビューアー・オン・メディア(画像と共にビューアーを添付する機能)
メディア履歴一覧・検索機能(メディアヒストリ)
オートアーカイブ機能(バックアップ兼用)

■サムネイル及びスタディ・ブラウザ

画像シリーズのサムネイルを作成
関連検査のサムネイル一覧、ビューアーへのドラッグアンドドロップ機能

■ユーティリティ

サルベージ(DICOMDIR が無い媒体の取込。DICOM ファイルのダンプ)機能
リストのファイル出力機能(Microsoft Excel の CSV フォーマット)
QA 機能(患者・検査情報の変更)
DICOM PDF⇒PDF 変換機能(表示を行うため)



遠隔端末上で表示されるワークリスト画面

主なオプション

■リモート障害対応

安心してお使いいただくための保守契約の一つ。年間契約。

■DocView

DICOM PDF の専用ビューアー。サムネイル機能を搭載し、複数の DICOM PDF 閲覧に対応したアプリケーションソフト。

■Import

画像ファイル(BMP/JPEG)並びに PDF ファイルを簡単な操作で DICOM に変換して取り込むアプリケーションソフト。

■InvViewer

電子カルテやレポートと連携して検索を行ったり、該当画像を表示させたりするユーティリティソフトです。

■DSPD

16 列 CT などのダイナミックスキャンで異なる時系列が一つのシリーズになっている場合、データ受信時に同一時系列ごとにシリーズに分割するアプリケーションソフトです。

■DICOM P14 校正

EIZO 医療用モニタ並びに校正費用が必要になります。また、実際のサンプル画像並びにモダリティの DICOM 一致宣言文章をメーカーからご入手いただく必要があります。

■データベース拡張

ローカルデータベースの保存管理検査件数の上限をご希望により拡張します。20 万検査 / 実質 HDD 容量 2TB 程度まで。

本製品は医療機器であるため添付文書が発行されています。ご注文前に添付文書を確認ください。

販売名: 画像診断用ソフトウェア Wink

認証番号: 227AGBZX00043000

お問い合わせ先

製造販売元



株式会社 イメージリサーチ

330-0854 さいたま市大宮区桜木町 4-313-201

☎ 048-658-3980

URL <http://www.image-research.co.jp/>